

5月7日 F-style トークセッション

伝えきれないけど伝えたい、それぞれの仕事やプライベート。千差万別の「これがあるから人生超楽しい！」をアツく語る。

おとなよ、 自分を語れ。

知っているようで知らない社長の仕事

飯田・下伊那と紙との関わり

株式会社中村

代表取締役社長 中村俊之



高校卒業まで飯田で育ち、大学と社会人(2社)のおよそ10年間を東京で過ごす。飯田に戻り、実家が経営する紙と包装資材を販売する会社に入社。コロナ禍の2020年に社長となる。
「良い会社」となるために日々悪戦苦闘する42歳。

組織の長としてどんな思いで何をしているのか？など包み隠さずお話しします。古くから飯田・下伊那と紙には密接なつながりがあります。昔と今、そして未来へ向けてこの地域と紙との関わりについてお話しします。

マジメな話とアソビの話

地震と建築の関係性

サウナとコロナ

小澤木材株式会社

代表取締役社長 小澤亮太



高校卒業後、イギリスに約1年サッカー留学をし、その後、駒澤大学入学。10年間東京で過ごし帰郷。現在の仕事について13年が経過中。大型木造建築や、住宅の施工や設計を日々しています

マジメな話はしっかり聞いて、アソビの話はテキトーに！絶対学校では聞けない話をします！気楽に聞いてください。

さむらい(士業)のひとり言

社会保険労務士鯉沼千里事務所
鯉沼 千里



立教大学卒業後、7年間専業主婦、日本年金機構勤務後2012年社会保険労務士鯉沼千里事務所開設、今に至る。

就職して初めて、新社会人、と言われたりすることから、学生のうちは社会に出てないの？と思うかもしれませんが。いいえ、皆さんも立派な組織人、社会人です。囲われる枠が、学校か会社かでちがうだけでもう社会人としての一步を踏み出しています！働くって、そう遠い未来ではないのです。